

2017.12.21

vol.62

# シネマ・ド・リぶらの コラム・ド・シネマ

映画  
を  
読む

## 本日の上映作品 『みじかくも美しく燃え』

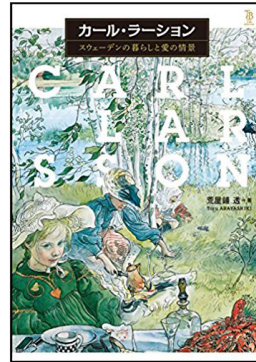
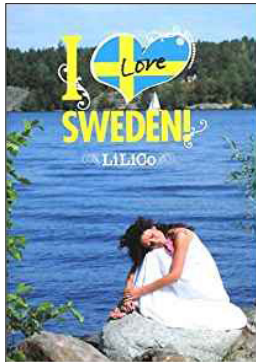
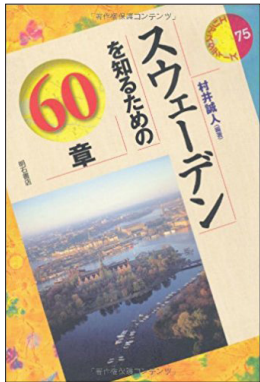


1889年にスウェーデンで実際に起きた事件を描いた美しい悲恋物語。妻子ある伯爵のスパール中尉（T・ベルグレン）はしががないサーカスの綱渡り芸人エルヴィラ（カンヌ主演賞のP・デゲルマルク）と愛しあい、駆け落ちしてしまう。友人の制止も聞き入れず、あてどない逃走を重ねるが、手配書が回り、やがて金も底を尽き、森の奥深くへ入っていった二人が選んだ結末とは…。モーツァルトの美しい旋律と映像美が際立つ上質なラブロマンス。

監督・脚本：ポー・ウィデルベルイ  
 出演：ピア・デゲルマルク  
 トミー・ベルグレン  
 レンナルト・マルメン  
 製作：1967年 スウェーデン  
 上映時間：90分



『スウェーデンを知るための60章』	村井 誠人／編著	明石書店	302.3893
『I Love SWEDEN!』	LiLiCo／著	ゴマブックス	293.893
『曾根崎心中』	近松 門左衛門／原作	リトルモア	913.6
『現代語訳曾根崎心中』	近松 門左衛門／著	河出書房新社	912.4
『地球の歩き方 A29 北欧』	「地球の歩き方」編集室／編集	ダイヤモンド・ビッグ社	290.93
『カール・ラーション』 スウェーデンの暮らしと愛の情景	カール・ラーション／[画]	東京美術	723.3893
『北欧トラベルダイアリー』 フィンランド・スウェーデン＋エストニア あこがれの街とかわいい田舎町あるき	すげさわ かよ／著	河出書房新社	293.892
『SWEDEN tide』 究極のスウェーデン・ガイドブック	講談社／編	講談社	293.893



## コラム『みじかくも美しく燃え』

映像と名曲で綴る一遍の恋愛詩 K.M.

1889年、ヨーロッパの上流社会に衝撃を与えた心中事件が起きました。スウェーデン伯爵のシクステン・スパーレ中尉と、サーカスの綱渡りスターのエルヴィラ・マディガンの心中事件です。事件の報道に感動したスウェーデンの作家ヨハン・リンドスドロウム・サクソンが、二人の恋物語をテーマとした「エルヴィラ・マディガン」というバラードを書き、やがて伝説の恋物語として人々の中に浸透していきます。

今回上映の『みじかくも美しく燃え』（1967年製作）は、この伝説の恋物語に材を求めた作品です。監督は1960年代のスウェーデン映画界に彗星のごとく現れたボー・ヴィーデルベリ監督です。彼は、ヌーヴェル・ヴァーグに影響を受けた世代の代表的な存在であり、この作品もヌーベルヴァーグ諸作品に共通する、当時としては斬新なスタイルによって撮られています。

この作品の冒頭は、字幕で「1889年、スパーレ中尉とエルヴィラがデンマークの森で心中した事件の実話である」との簡単なコメントが出た後、心中という究極の悲恋ドラマでは重視される二人のなれそめ、相思相愛となる経緯、逃避行の経路などのシーンは一切なく、いきなり、木漏れ日がきらめき、野の花が風にゆれる逃避先の野原で、愛を確かめ合う二人のシーンで開幕します。中尉は、脱走兵として追われる身。エルヴィラもサーカスにはもはや戻れぬ様子。当然不安はあるのですが、なんと初々しい二人の挙動、自然の美しさ、家並みののどかさ、野に遊ぶ子供たちなどが負の要素を帳消しにしてしまい、どこか開けっぴろげで、「逃げ」を楽しんでいる雰囲気すら漂う開幕30分ほどのシーンです。

この作品を「命を懸けた情念のドラマ」としてではなく、「透明な悲しみに充ちた恋愛詩」として創り上げようとした監督の思いが感じられます。このシーンの途中から、モーツァルトの「ピアノ協奏曲21番第2楽章」の美しいメロディーが地を這う霧のように忍び寄ってきます。この曲は、この作品の最大の魅力である印象派の絵画さながらの各シーンの映像美にとってもよくマッチしており、よくぞこの曲を選択したものと感心させられます。

恋の高揚のままに逃避行を重ねる二人の幸せな日々は長くは続かず、やがて持ち金は底を尽き、いつしか精神的にも追いつめられてゆく二人。この愛を貫くために、ふたりに残された道はひとつ……。野原で蝶を追うエルヴィラ、その手に蝶を捕まえ微笑むエルヴィラのストップモーションのラストシーンは、衝撃的ですが詩的で美しく、観る者に深い余韻を残します。

ほとんど無名の俳優によって演じられたこの作品ですが、エルヴィラを演じた映画初主演のピア・デゲルマルクは、1967年カンヌ国際映画祭主演女優賞を受賞します。その後が期待されたのですが、元々女優志望ではなかったため、3作だけ出演して引退しました。なお、2人が最後の時間を過ごした場所は、デンマークのフリン群島のトーシエン島の森の中で、近くに二人の比翼塚が作られ、その前の通りは、エルヴィラ・マディガン通りと名付けられて、恋人たちの聖地ようになっており、今なお世界中から観光客や恋人たちが訪れるそうです。



## 10/19 『荒野の決闘』の感想

- ・友情・正義・信義、いずれもとてもよかった。風景や表情も、たいそう美しかった。ビクター・マチュアが久しぶりで、うれしかった。ありがとうございました。
- ・骨太な作品。画・音・人、すべてが合致して素敵でした。
- ・何回かテレビで観たが、ゆっくり全部内容もよくわかった。荒くれただけの西部劇でなく、よかった。手術が終わってホッとしたのに、ドクは死んでしまって……。さわやかなウェスタンでした。大画面はとてもよい。
- ・弟の死をきっかけに、子供たちが住みよい（安心して）町にしようと頑張ったヘンリー・フォンドのワイアットがよかった。
- ・二度目ですが、時には「西部劇」はよいものですね。昔『血沸き肉躍る！！』と言いましたが、正にその通り！！ ジョン・フォード監督は素晴らしいです。上映スタッフの方々、いつもありがとうございます。
- ・ジョン・フォードの映画はすべてよい。また上映を。
- ・西部の景色（モニュメント・バレー）が気に入った。

- ・久しぶりの西部劇でした。とても心に響くものがありました。次は、『駅馬車』も見たいです。
- ・西部劇ってあんなんだったんだ。決闘シーンは迫力ありました！
- ・アメリカの銃社会の原点を見た。すべて銃で解決する社会。恐ろしいが、自分のことは自分で処理するのだ。
- ・ピストルは悪いです。よい映画を望みます。
- ・映画は久しぶりです。アメリカの社会や文化についてよくわかりました。
- ・雄大な景色が素晴らしい。音楽も最高でした！！
- ・大学生の頃を思い出した。若い頃のよい思い出です。
- ・人の心の弱さ、強さ？ なんかとても良かったです。
- ・二人の女性の対比が面白かった。どちらも魅力的ですね。
- ・馬がかわいそうでした！！
- ・とてもよかった。ハッピーエンドにならない悲恋もジーンとします。
- ・とてもすばらしい映画でした。

## インフォメーション

### 注意



上映中の携帯操作は、周りの方の迷惑になりますのでご遠慮下さい。また、観賞マナーを守り、終了後も明るくなるまで席を立たないようにお願いします。

りぶらホールにはヒアリンググループが設置されています。補聴器を利用されている方は、Tモードに切り替えてください。



### サロン・ド・シネマについて

ホールホワイエにて、寄付金でお茶菓子の提供をしています。映画の上映前にご利用ください。但し、「夜の部」には開催しません。

### アンケートの集計について

6月と8月の上映会時に、アンケートをとらせていただきました。たくさんのご回答をありがとうございました。ただ今集計中ですので、結果については、今しばらくお待ちください。

### 今後の上映についてのご案内（上映作品は検討中です）

- 第 65 回 4 月 19 日（木）① 10:30 ～ ② 14:00 ～ ③ 18 時すぎ
- 第 66 回 5 月 17 日（木）① 10:30 ～ ② 14:00 ～ ③ 18 時すぎ
- 第 67 回 6 月 21 日（木）① 10:30 ～ ② 14:00 ～ ③ 18 時すぎ

常時「夜の部」を開催します。但し「夜の部」は、作品の上映時間により上映の開始時間が変更になる場合がありますので、その都度ご確認ください。

「シネマ・ド・リぶら」映画上映会 (第 63 回)

# バルカン超特急

字幕上映

THE LADY VANISHES



列車の中でミス・フロイという一人の老婦人が消え失せた。アメリカの富豪の娘アイリスは、フロイの行方を探すが、彼女が居たという痕跡すらもない。乗客もフロイの存在を信じない中、ギルバートという青年だけは、アイリスに協力を申し出るが……。ユーモアとサスペンスにあふれた、ヒッチコックのイギリス時代の代表作。

監督：アルフレッド・ヒッチコック

原作：エセル・リナ・ホワイト

音楽：ルイス・レヴィ

出演：マーガレット・ロックウッド

マイケル・レッドグレーヴ

ポール・ルーカス

リンデン・トラヴァース

メイ・ウィッティ

製作：1938年 イギリス モノクロ 98分

★日時 **1月18日(木)**

① **10:30 ~ 12:10** 開場：10:00

② **14:00 ~ 15:40** 開場：13:30

③ **18:30 ~ 20:10** 開場：18:00

★場所 **りぶらホール**

★定員 各回先着 **280人** (入場無料・全席自由)

★主催 **岡崎市立中央図書館**

**りぶらサポータークラブ**

★問合せ TEL : 23-3114 / 070-5252-7263

mail : lsc-office@libra-sc.jp

託児：500円  
①・②のみ  
各5名まで。  
申込みは、  
1週間前までに。

